

令和3年度 〈期日〉 令和3年11月18日（木） 〈会場〉 邑楽町中央公民館 東毛地区社会教育関係職員等研修講座

東毛地区の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育行政に携わる職員及び学校職員を対象に、社会教育行政職員等に求められる基本的・実践的な知識及び技術の習得を目指し、資質の向上を図ることをねらいとし、「東毛地区社会教育関係職員等研修講座」を開催しました。第1部が講演、第2部は参加者同士の情報交換を実施しました。当日は、50名の方に御参加いただき、有意義な研修講座となりました。

講演

講師：川口一美氏

聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科 教授

「コロナ禍における生涯学習のあり方」 ～現状と今後の可能性について～



「情報交換で、盛り上がる参加者」

情報交換

「コロナ禍における社会教育施設の取組」

後半の「情報交換」では、3.4名のグループでテーマや日頃の業務について、熱心に話し合ってくださいました。コロナ禍により久しぶりの交流で大いに盛り上がりいただくことができ、充実した意見交流の場となりました。

◇参加者の声◇ アンケートより

- コロナ禍でもいろいろ取り組めることもあるのだと思いました。学びを止めないようがんばりたいです。
- エコマップをつくってみて、自分が地域との関わりの薄いことを改めて実感しました。
- 入職してから、コロナの影響により研修の機会や他市町村の方との交流が少なく、社会教育についての知識を広げられなかったが、今日の実りある研修のおかげで、実践に生かせる知識の習得ができた。
- 社会資源への気付き及びコーディネートしてネットワークをつくることの意義を認識できた。
- 社会関係資本の重要性、大切さを再確認できた。
- 学校職員など他分野の方と交流ができ有意義でした。
- 情報交換は、他の公民館の取組が聞けてよかった。

〈主催〉群馬県教育委員会 〈主管〉東部教育事務所